

## 【生活トレンド研究所レポート 2015 vol.2】 「20～40代の恋愛・結婚・家庭観」に関する調査を実施②

### (2) 理想の結婚は、「価値観が同じパートナーに思いやられ、優しくされることで癒される」こと!?しかし結婚の決め手は「出産や子育ての価値観」

独身者に対して結婚相手に求めるもの、既婚者に対して結婚の決め手となった配偶者の長所を聞いたところ、いずれも「思いやりや優しさがあること」、「価値観が同じであること」が1位、2位を占めました。3位以下を見ると独身者と既婚者で差があり、独身男性が「女性らしいこと」、「趣味が同じであること」を挙げている一方で、既婚男性は「仕事への理解があること」、「子供が欲しいと思っていること」、「出産、子育てに関する考え方が近いこと」を挙げていました。女性については、3位以下でも「収入が安定していること」、「一緒にいて癒やされること」が挙げられている中、独身女性は「包容力があること」、「家事を協力してこなしてくれること」を挙げていましたが、既婚女性は「身長が自分よりも高いこと」、「育児に協力的であること」、「出産、子育てに関する考え方が近いこと」を挙げていました。既婚者は男女ともに、「出産」や「子育て」に関する価値観が同じであることが結婚の決め手となるようです（表1）。

この結果に対し、相沢氏は次のようにコメントしています。

「年代を問わず、独身の男女に共通して上位を占めたのは、『思いやりや優しさがあること』『価値観が同じであること』『一緒にいて癒やされること』であることから、**独身の理想の結婚とは、『価値観が同じパートナーに思いやられ、優しくされることで、癒やされること』**だということが浮き彫りになりました。

女性は上位3項目に加え、独身女性の半数以上、既婚女性の約半数が『収入が安定していること』を挙げており、『男性の収入に頼りたい』願望がうかがえます。これは専業主婦願望だけでなく、妊娠出産時に仕事を休み無収入になる時期を考えての不安の表れだと思います。女性のほうが平均年収が低く、女性の稼ぎだけでは家族を養うことができないことも理由のひとつでしょう。

結婚相手に求めることランキングのパーセンテージを見ていくと、同じ順位でも女性のほうがおよそ10～15%も高く、**男性よりも女性のほうが、結婚相手に求めるものが多いことを示します**。求めるものが多いということは、結婚相手に求める条件が多く、理想が高くなってしまっているとも言い換えられます。

**既婚女性の結婚の決め手となった夫の長所のパーセンテージを比べると、全体的に10%近くも下がっているため、実際に結婚をする時には条件の限りではないということがわかります。**」

さらに、河崎氏も次のようにコメントしています。

「この結果から読み取ることができたのは、男性が結婚前と後で配偶者への要求を著しく減らしているということでした。独身時代は『女性らしさ』『思いやりや優しさ』『趣味が一緒』などなど、女性性の高く趣味も分かち合える『理想の奥さん』を思い描いていたのが、結婚後は『価値観』が重視され、『思いやり優しさ』は2位に下降し、『女性らしさ』『趣味が一緒』などは10位以下となりました。あまりに顕著な鳴りのひそめ方に、『現実を知って、いろいろなことを要求するのをあきらめてしまったのかな?』と多少気の毒になるほど。

一方で女性は、結婚前に相手に求めていた財産や自分の仕事への理解などのファッション誌的な男性観をあきらめ、『いま目の前に横たわる問題』として出産育児への協力を求めています。**双方が結婚を経て現実を受容し、実践的な態度を身につけ、人間観を深めた、と言えるのかもしれない。**」

表 1) 結婚相手に求めるもの(独身者)、結婚の決め手となった配偶者の長所(既婚者)

独身男性(237名)		既婚男性(330名)		
1	思いやりや優しさがあること	51.9%	価値観が同じであること	48.8%
2	価値観が同じであること	50.6%	思いやりや優しさがあること	47.9%
3	一緒にいて癒されること	43.9%	一緒にいて癒されること	42.7%
4	食事の好み合うこと	32.5%	食事の好み合うこと	27.6%
5	家事をこなす能力があること	26.6%	家事をこなす能力があること	27.3%
6	男性らしい/女性らしいこと	23.6%	仕事への理解があること	21.2%
7	趣味が同じであること	22.4%	家族や親戚を大切にしていること	20.3%
8	ユーモアがあること	21.9%	子供が欲しいと思っていること	18.2%
9	家族や親戚を大切にしていること	20.7%	ユーモアがあること	17.9%
10	仕事への理解があること	19.0%	出産、子育てに関する考え方が近いこと	17.6%
独身女性(232名)		既婚女性(324名)		
1	思いやりや優しさがあること	68.1%	思いやりや優しさがあること	57.7%
2	価値観が同じであること	59.1%	価値観が同じであること	50.0%
3	収入が安定していること	55.6%	収入が安定していること	48.1%
4	一緒にいて癒されること	54.7%	一緒にいて癒されること	39.2%
5	包容力があること	45.7%	食事の好み合うこと	34.6%
6	食事の好み合うこと	44.0%	家族や親戚を大切にしていること	34.3%
7	家事を協力してこなしてくれること	36.2%	包容力があること	33.6%
8	家族や親戚を大切にしていること	35.8%	身長が自分よりも高いこと	29.6%
9	ユーモアがあること	32.8%	育児に協力的であること	28.7%
10	年収が自分よりも高いこと	31.0%	出産、子育てに関する考え方が近いこと	23.8%

さらに、男性の出身校別(男子校/共学校出身)で見ると、独身男性に関しては「価値観が同じであること」、「思いやりや優しさがあること」で共学校出身者よりも男子校出身者のほうが5ポイント以上高く、また、全体的にも独身の男子校出身者は共学校出身者よりもポイントが高い傾向にありました(表2)。

この結果に対し、おた氏は次のようにコメントしています。

「男子校出身者は、妻に母親的な役割を求めているように思えます。『思いやりや優しさがあること』『仕事への理解があること』『家事をこなす能力があること』において、独身男性では「男子校・ほぼ男子クラス」出身者が『共学男子』を5ポイント以上の差で上回っているのに、既婚男性では、両者の差がほとんどなくなるか、逆転しています。独身のころは、『男子校・ほぼ男子クラス』出身者は共学男子に比べて、妻に、自分をサポートしてくれる役割を求めている割合が高いと考えられます。妻に対してより依存的である、妻に母のような存在でいてくれることを期待しているとも言えます。結婚・出産しても仕事を続けたいと考えている女性からしてみると、結婚相手としては望ましくないと思われるかもしれません。」

表 2) 男性出身校別結婚相手に求めるもの(独身者)、結婚の決め手となった配偶者の長所(既婚者)

【独身】男子校・ほぼ男子クラス(78名)		【独身】共学男子(149名)		
1	価値観が同じであること	56.4%	思いやりや優しさがあること	50.3%
2	思いやりや優しさがあること	56.4%	価値観が同じであること	49.7%
3	一緒にいて癒されること	44.9%	一緒にいて癒されること	44.3%
4	食事の好み合うこと	34.6%	食事の好み合うこと	31.5%
5	家事をこなす能力があること	33.3%	ユーモアがあること	24.8%
6	家族や親戚を大切にしていること	29.5%	家事をこなす能力があること	24.2%
7	趣味が同じであること	26.9%	男性らしい/女性らしいこと	24.2%
8	男性らしい/女性らしいこと	25.6%	家事を協力してこなしてくれること	22.1%
9	仕事への理解があること	24.4%	趣味が同じであること	20.8%
10	子供が欲しいと思っていること	23.1%	家族や親戚を大切にしていること	16.8%
【既婚】男子校・ほぼ男子クラス(107名)		【既婚】共学男子(215名)		
1	価値観が同じであること	49.5%	価値観が同じであること	49.8%
2	一緒にいて癒されること	46.7%	思いやりや優しさがあること	49.3%
3	思いやりや優しさがあること	46.7%	一緒にいて癒されること	42.3%
4	食事の好み合うこと	33.6%	家事をこなす能力があること	27.4%
5	家事をこなす能力があること	29.0%	食事の好み合うこと	23.7%
6	家族や親戚を大切にしていること	26.2%	仕事への理解があること	21.9%
7	子供が欲しいと思っていること	23.4%	家族や親戚を大切にしていること	18.1%
8	ユーモアがあること	23.4%	出産、子育てに関する考え方が近いこと	16.3%
9	仕事への理解があること	20.6%	趣味が同じであること	15.8%
10	男性らしい/女性らしいこと	19.6%	ユーモアがあること	15.3%